

港南造形タイムズ

第29号

8期生修学旅行 金沢・加賀方面に行ってきました



<金沢美術工芸大学>

<金沢東茶屋街>



<能登島吹きガラス体験>

8期生(2年生)は10月12日(水)から15日(土)まで、3泊4日の日程で、昨年同様、石川県、金沢・加賀方面への修学旅行に行ってきました。前半は快晴で、3日目からは少し下り坂でしたが、全般に天候には恵まれました。事故もなく全員無事元気に帰って来られて何よりです。石川県は、加賀友禅、輪島塗、九谷焼などの伝統工芸で知られています。この修学旅行も、九谷のろくろ・絵付け、加賀の毛鉤、友禅染、挽き物(木工ろくろ)、金箔、吹きガラス、紙漉など、様々な工芸体験や金沢美術工芸大学の見学と体験授業、金沢の自由散策などグループに分かれて活動しました。また、全体では白川郷のスケッチや写真撮影、美大の先生の講演会、金

沢21世紀美術館の鑑賞、レクレーションなど盛りだくさんの内容になりました。短時間の体験とは言え、そこはさすが港南生、制作中の眼差しは真剣そのもの。レクレーションも楽しいクイズやら迫力満点のダンスやらで大いに盛り上がりました。宿泊ホテルは超一流、豪華な食事と温泉は高校生には勿体ないくらいでした。夜、はしゃぎすぎて怒られた生徒もいましたが、楽しい中にもけじめのある素敵な修学旅行でした。

車上ねらい等防犯啓発キャラクターを制作し 知事から感謝状を贈呈されました

このたび、大阪府政策企画部 青少年・地域安全室 治安対策課 地域防犯・街頭犯罪対策グループからの要請を受けて、「車上荒らし」の被害を防ぐため、車内に荷物などを置かないキャンペーンと「ナンバープレートなどの部品泥棒」の被害を防ぐための防犯ネジ使用キャンペーンの、キャラクターデザインおよびキャッチコピーの制作を行いました。

制作をしたのは、本校3年グラフィックデザインチームの12名で、10月20日（木）に危機管理監から知事名の感謝状を府庁本館でいただきました。

キャラクターの名称は、「カラッポー」と「プレトちゃん」です。今後、大阪の犯罪防止の一助になればと願っています。



日本伝統工芸展で鑑賞教室

10月21日（木）、本校の陶芸部、クラフト部、ファイバーアート部等の生徒29名が、日本伝統工芸展大阪展の鑑賞教室（会場：JR大阪三越伊勢丹）に参加し、その様子が朝日新聞（平成23年10月22日朝刊）に掲載されました。

この鑑賞教室は、大阪の伝統工芸の継承・発展を目的として、第58回日本伝統工芸展大阪展の一環として行われたもので、日本工芸会、本府文化財保護課と連携して8月25日（木）に本校で実施した『出前講座 木工芸編』（講師：藤寄一正氏〈木工芸家・日本工芸会正会員・大阪府無形文化財保持者〉）に引き続いて取り組んだものです。

当日は、陶芸や染織など7部門の展示を見て回り、木工部門の藤寄一正氏をはじめとして、それぞれの部門で日本工芸会の会員の方に作品の解説をしていただきました。

生徒が技法や素材などについて質問をし、その質問の内容を褒めていただく場面もありました。「時間をかけて木を昇華させ、芸術作品として成立させているのはすごい。自分も木工を続けたい。」との生徒の感想もあり、鑑賞教室に触発され制作への意欲も一層喚起されたようです。

平林祭いで 糸のこ木工教室を開催

10月23日(日) 地元開催の平林祭りへ参加しました。主にクラフト部、漆芸部の22名の生徒が参加し、糸のこ盤やサンダーの使い方を指導しました。毎年恒例となっているこの教室には、今年も子どもたちを中心に100名を上回る申込みがあり、午前中には予約がうまってしまふほどの盛況ぶりでした。



また楽器のカホンをつくるワークショップ等、他の企画の制作補助のお手伝い等も行いましたが、しっかりサポートする様子に、さすが普段ものづくりをしている造形高校の生徒さんだと、スタッフの方からお褒めの言葉をいただきました。

産業教育フェア大盛況でした

10月22日(土)と23日(日)の両日、弁天町のオーク200で第19回大阪府産業教育フェアが開催されました。本校からは、陶芸部・版画部・ファイバーアート部・デザイン同好会が参加し、食器やTシャツ・エコバック・はがき・レターセットなどの作品販売と授業作品展示を行いました。また、クラフト部制作の募金箱を置き、本校生徒がデザインした緑の募金キャンペーンバッチを配布しました。

今年も、たくさんの方に来ていただき、大盛況でした。

